

in the West and the East—

1' The Secret Garden にみる父親像とその役割

乾 由美奈

1' Little House on the Prairie にあけるン

小椋有里子

1' Alcott's Innermost Thoughts of Family in Little Women

富田 千里

1' Dubliners の "The Dead" の題名の暗示する

森 亜紀子

1' Alice's Adventures in Wonderland における英語と音と言葉遊びのちみちをこつて

吉村亜由美

1' A Comparison of American and Foreign Movies

磯貝 聡

—The Movie as a Symbol of Each Country—

Country—

1' fine の意味拡張について

1' The Bluest Eye にみる Toni Morrison の思想と黒人芸術運動との比較

曾根明日香

1' The Lord of the Flies の研究

—ゴールディングの人間観について—

1' Food Culture of Britain

1' A Tragedy in Death of a Salesman

1' The witch history in England

1' Salinger と宗教

1' Dubliners における主人公達の理想と現実 奥井 潤次

— "A Little Cloud" を中心に —

1' Dubliners にみられる Joyce の言語感覚に

ついて 南 洋介

— "Araby" と "Eveline" における光と闇のイ

メージー

二〇〇六年度短期大学部

卒業論文題目

○社会福祉科

1、知的障がい者のグループホームの課題 池島 充美

— 自立して生活するための地域の役割を中心に —

1、寝たきり高齢者の QOL をめぐる課題 石橋 千勢

— 寝たきりであってもどうすればより豊かな生活を送れるか —

活を送れるか

1、知的障がい者の愛と性の充実のために 稲継 理恵

— 私達が出来る支援と理解 —

1、自閉症の社会参加について 河南麻美子

— 就労、結婚、地域社会支援について —

1、ダウン症を持った人の生活課題 岸本江里子

— 仕事、恋愛、社会参加など個人インタビューから見えるもの —

から見えるもの

1、知的障がい者への虐待を防ぐためには 栗山 実香

―家族の立場から施設虐待にいかに対処するか―

一、障がい者アートの可能性

桑田 和美

―自己表現、社会参加の方法としてのアート―

一、老人ホーム等における音楽療法のあり方

小岩 由美

―認知症の人への効果を引き出すには―

一、施設処遇における口腔ケアの意義

河野 里佳

―施設での口腔ケアの実態、比較からの考察―

一、知的障がい者の学習保障

後藤 友香

―成人後の学習保障の現状と課題―

一、我が子が障がい者だと知った時

高見 友郁

―親の思いとそこから見えてくる問題について―

一、身体障がい者にとって住みやすい住環境

田邊 千春

―ユニバーサルデザインの観点から―

一、知的障がい者の性生活の課題と展望

隄 紀子

―現場の性教育の問題点と社会啓発のあり方―

一、里親制度の現状と課題

西坂 咲希

―望ましい処遇のあり方と普及方法をめぐって―

一、共に生きるパートナーとしての補助犬

濱塚 咲奈

―補助犬との生活で身体障がい者に何を得的のか?―

一、聴覚障害者の日常生活におけるコミュニケーション支援

久田 詩依

―不便を克服するために社会とわたしたちにできること―

一、在宅要介護高齢者の口腔ケアの必要性

宮田 祥子

―食の楽しみとQOLを高めていくために―

一、高齢者を取り巻く環境と生きがいについて

矢田 可織

―スポーツを通じた社会参加をどう支えるか―

一、認知症を持つ高齢者へのグループホームのあり方

山本有希子

―私物、役割、自由度、近隣関係を中心に―

一、寝たきり老人に対するリハビリテーション介護

梶田 恭子

―人生の最期を自分らしく過ごすために―

一、高齢者とスポーツ

安藤 久美

―生きがいを持つということ―

一、高齢者のターミナルケア

池村 佳恵

―自分らしく最期を迎える―

一、ひとり親家庭と非行少年の関係性

伊藤ゆう子

―家族の絆と虐待・愛情―

一、高齢者の食事

今井八千代

―高齢者にとっての最善の食事とは―

一、重複障害者

岡田 真里

―喜怒哀楽―

一、在宅高齢者のための介護サービス

鴻山 恵理

一、人間としての「死」

加納 幸子

一、高齢期に襲いかかる障害と疾病

川下 真未

―力・光・音が徐々に失われていく高齢者の心と体の理解―

一、ユニットケアについて

小杉真有香

―ユニット化による介護の変化―

一、障害者スポーツ

才田 桃子

一、ユニットケアについて

嶋田 由季

―認知症高齢者に与える影響―

一、高齢者リハビリテーションについて

竹田 恵理

一、高齢者への虐待問題

中村 有希

一、認知症と介護

久山 侑香

一、ダウン症について

藤原 庸子

―その特徴と性―

一、アニマルセラピーについて

榊田 晴香

一、障害者スポーツ

松田 伊代

一、ノーマライゼーションと施設解体

宮内 絵里

一、高齢者の在宅介護について

村西 晴香

一、非行を犯す子供たち

柳原 咲子

―子供を取り巻く様々な問題―

一、家庭内における高齢者虐待

今坂 友香

―これからの家族介護のあり方―

一、がん患者のターミナルケアの重要性

上造輪陽子

―緩和ケアの展望―

一、日本の社会福祉における盲導犬のあり方

太田 貴子

一、児童虐待における親と子の関係性

太田三香子

一、認知症と地域社会の支援

岡崎 紀彦

一、身体障害者の生活と福祉用具の機能

川端裕美子

一、高齢者におけるレクリエーション活動の重要性

北浦佐也佳

―QOLを高めるために―

一、市町村合併による地域福祉計画の実態と住民意識

木村明日香

一、差別と偏見からの克服

工藤かおり

―知的障害者の「サヴァン症候群」―

一、虐待はなぜおこるのか

澤本 麻郁

―愛されない子ども・愛することが出来ない親の実態―

篠原 千賀

一、施設の認知症高者に対する精神的暴力

東度 亜衣

―閉じ込められた介護の是非―

一、青少年の薬物乱用による犯罪とその社会背景

中川 由香

一、クライエントと援助者の相互関係

―自己選択・自己決定の重要性―

西岡 紗世

一、認知症について

安田 真幸

一、バリアフリーの現状と課題

―車椅子で行けるところ行けないところ―

山崎 学

一、知的障害者の自立とボランティアの支援

義富 理恵

一、青少年犯罪の発生率の比較

吉弘 麻美

一、施設内虐待の実態とその予防

米田 香織

一、楽観主義による心の変革

若森 友香

―老いに与える効果―

一、自閉症者の支援システム「TEACCH」における役割と課題

岡崎 香

一、ドメスティックバイオレンスについて

河原 左織

一、高齢者虐待について

―心理的要因と社会的背景―

一、地域福祉型サービスについて

一、犬の障害について

一、在宅介護と家族

一、聴覚障害者とのコミュニケーション

一、ホスピスケア

―ホスピスとビハラーから死を学ぶ―

一、介護予防について

一、より良い在宅介護を目指して

―在宅福祉のあり方―

一、高齢者の食事

一、ターミナル・ケアについて

一、施設内虐待

一、生涯スポーツ

一、現代と犯罪

一、長寿社会

一、認知症高齢者について

―その特徴とかわり方―

一、児童虐待について

一、高齢者とその家族

一、車椅子とノーマライゼーション

一、尊厳死とホスピス

―最期まで「自分」らしくあるために―

一、高齢者の在宅介護への支援

一、高齢者虐待について

―虐待が起る原因とその対応―

一、障害者の生活とバリアフリー

一、知的障害者の生活環境について

―在宅と施設での暮らしの違いについて―

一、自閉症児のライフステージの実際と課題

一、ユニバーサルデザインの成果と課題

―全ての人が暮らしやすいまちを創造する―

一、被虐待児に対する援助

―児童養護施設と里親制度の比較を通して―

一、単親世帯に対する福祉支援

―母子家庭・父子家庭への支援を中心として―

一、自閉症児の行動特徴

―コミュニケーションの取り方を中心に―

一、聴覚障害者のコミュニケーションの現状

一、少年非行における、社会の支援

―非行少年への心のケアと更生―

一、高齢者のターミナルケアの課題

―施設ケアと在宅ケアを主題として―

一、介護施設の現状と課題

一、聴覚障害者のくらしと手話

一、うつ病への対応

一、障がい者の社会的受容

一、笑いが人に与える力

―福祉現場における笑いの必要性―

一、知的障害児(者)における生活・社会参加

境田 沙弥香

阪口 優香

新宮 美穂

田中 千絵美

田邊 千慧

辻 真理子

徳屋 真実

仁保 瑞希

野村 直史

萩原 沙織

橋 園実

馬場 園隆志

藤木 早苗

藤田 紗希

山本 佳奈

山本 梨佳

雪山 晴香

吉岡 郁美

石塚 智奈美

江上 直子

尾崎 梨沙

柿本 真代

神林 美奈

小林 千奈美

佐久間 理江

生部 恵

杉山 圭子

諏訪 恵理香

堂園 真子

長尾 真利恵

西本 眞由美

橋本 恵

林 真里江

藤牧 夢野

細川 ひとみ

宮川 知佳

宮川 知佳

- | | | | |
|---------------------------|-------|---------------------------|-------|
| 一、高齢者への虐待 | 若林 愛美 | 一、知的障害児への教育保障 | 秦 いつか |
| 一、アルマルセラピーの効果と問題点 | 蘆田 真弓 | 一、統合教育の推進に向けて | |
| 一、国際比較で見た日本における現状 | | 一、だれもが健やかに生きられる地域福祉の創造 | 羽場 友香 |
| 一、身体障害者と補助犬の関係 | 大久保純子 | 一、豊かな人間関係の復活をもとめて | |
| 一、受け入れられない日本社会の実態 | | 一、凶悪化する少年犯罪 | 檜山 由美 |
| 一、知的障害児・者を対象とした音楽療法の効果と課題 | 大畠 一信 | 一、その現状と対策 | |
| 一、急がれる指導者の養成と普及の促進 | | 一、寝たきり高齢者の延命治療の現状 | 平井奈津美 |
| 一、安楽死の国際比較 | 大村真奈美 | 一、安楽死・尊厳死を中心として | |
| 一、日本の現状と課題 | | 一、身体障害者の自立を支える地域づくり | 村山 亜郁 |
| 一、子育て対策と女性支援 | 加来由梨子 | 一、社会に残る心のバリアフリー | |
| 一、現代日本社会の課題 | | 一、豊かな聴覚障害者のコミュニケーションを求めて | 森 弥生 |
| 一、高齢者の余暇利用の効果と課題 | 児玉 知子 | 一、心理的バリアフリーの解消を考える | |
| 一、増加する高齢者虐待 | 大平 奈央 | 一、ハンセン病の歴史と変遷 | 金 官浩 |
| 一、加害者・被害者のケアの方策を考える | | 一、なお残る元患者への偏見と差別 | |
| 一、増加するニート現象を考える | 辻本 由香 | 一、男性保育士のあり方について | 小川 雄吾 |
| 一、なぜ若者は働かないのか | | 一、現代の子育てに必要な関わり | |
| 一、知的障害者の性の権利保障のあり方 | 堤 まい | 一、子どもの人間関係 | 奥瀬くるみ |
| 一、人間性の回復への支援策 | | 一、保育士が子どもに与える影響 | |
| 一、高齢者のQOLのあり方 | 寺嶋 友美 | 一、児童にとって家庭とは何か | 奥田 惇子 |
| 一、健やかな老後を過ごすために | | 一、音楽療法の現実と今後 | 奥山 亮子 |
| 一、障害者の就労と社会参加 | 中川 友紀 | 一、児童養護施設で暮らす子ども達にとっての家族とは | 河村千葉美 |
| 一、その現状と課題 | | 一、家族への支援を中心に | |
| 一、障害者の性のあり方について | 長谷川沙織 | 一、摂食障害の治療における家族と友人のサポート | |
| 一、セックスボランティアと日本の現状 | | | |

ト

一、ADHDの子どもの関わり方

一、子ども家庭支援ネットワーク

―行政及び民間による子育て支援―

一、アレルギー児の保育

一、子どもと睡眠の関係

―夜更かしをする子ども達―

一、子どもとのコミュニケーションについて

一、リハビリテーションスポーツの意義と効果

一、子どもをとりまく人間関係

―異年齢保育の可能性―

一、自閉症児とは……

―自閉症児と家族―

一、変化しつつある子どもの生活習慣

一、今後、保育園に求められるもの

一、食育

―キレる子どもと現代の生活習慣の関係―

一、現代の食生活について

―子どもの食事の見直し―

一、子どものスポーツ障害について

一、統合保育と分離保育について

一、子どもの成長に影響を与える人間関係について

て

一、乳児院・保育所の役割と援助の違い

一、聴覚障害の子ども達

木村 恭子

葛川加奈子

久保 典子

栗田 麻郁

小糸麻衣子

坂元 善昭

櫻井 友紀

菅田真由子

関谷友希子

谷中奈緒子

玉井 寿尚

中島 育子

中村 美加

中本 優

橋本 有沙

山口 哲生

山本 未央

吉永 純子

一、現代家族をめぐる諸問題

一、三歳児神話と集団保育

―乳児保育における一観点からの考察―

一、子育て支援について

一、メディアが子どもに与える影響

一、少年犯罪についての一考察

一、幼児教育論

―幼稚園教育と保育所保育を比較して―

一、知的障害児の暮らし

一、黒柳徹子と福祉活動

一、児童養護施設の子どもたち

一、テレビゲームと子ども

一、世界の子どもたちの現状

―ストリートチルドレンを中心に―

一、自閉症児について

一、現代社会における家族について

一、少子化社会における子育て支援

一、子どもとことばについての一考察

一、子どもにとって遊びとは

一、知的障害者の行動特徴と支援のあり方

一、出生前診断について

一、現代の子どもの心理状況

一、食生活について

一、子どもと食生活について

一、聴覚障害についての一考察

青木 千夏

赤井佐知子

井上真理子

井ノ本 梢

大山 沙織

川本麻由佳

倉野摩耶子

高橋 美保

辻 由香恵

徳原 尚子

中村加奈子

西田 暁

羽根田久美子

藤井 美希

古川 真梨

本庶 佑樹

増田 純子

増田 紀子

松岡 一樹

松下 時子

南 佳奈

山本 和裕

一、小児医療について考える

吉岡 美季

一、家族の中の子ども

朝田 茉莉

―ライフコースの変化の中で―

一、性的虐待

乾 由起子

―現状から残された課題を考える―

一、児童養護施設における自立支援

今井 梨恵

―子どもへの職員の専門的な関わり―

一、幼児同士の関わり

今江 早希

―縦割り保育と横割り保育の検討を通して―

一、家族についての一考察

大久保美典

―女性の視点から―

一、障害のある子どもを産むこと／産まないこと

金澤絵里子

―夫婦の葛藤と戸惑い―

一、自閉症児の療育

口井妃紗子

―音楽療法の意義と可能性―

一、保育所と家庭・地域の連携

時枝 真代

―共育ちの保育―

一、子育て支援活動の現状と課題

中神 圭司

―保育所での取り組みを中心に―

一、母子家庭、父子家庭における子どもの人権について

中川 広大

―

一、知的障害者の人権について

永濱 友佳

―卒業実習での学びを通して―

一、アスペルガー症候群の子どもの保育について

廣井 温子

―家庭でアスペルガー症候群の乳幼児を子育て

する家族―

一、鬱と思春期

富金原 縁

―自傷のおこりと人格障害―

一、地域で支える子育て支援

堀野 佳子

―先駆的な事例を通して―

一、乳幼児期の児童虐待について

松尾 美希

一、育児不安と子育て支援

松野 陽子

一、幼保一元化についての一考察

三浦恵里子

一、児童養護施設における直接ケア職員の役割

矢ヶ崎優子

―学童期にネグレクトを受けた児童への対応を

中心に―

一、知的しょうがいを持つ人の就労について

山下 美喜

一、人間の心を癒す動物の力について

吉井 尚子

一、高齢者虐待

青木 真美

―介護者の孤立を考える―

一、福祉の世界で活躍している犬たちが人に与る

上中菜津巳

影響

一、笑いの医学的効果

北川 貴恵

一、部落差別を考える

北村沙奈恵

一、日本と外国の福祉

小出 桂葉

―遅れている日本の福祉と外国の福祉を比較し

て―

一、子どものころ、親のころ

清水麻理子

―教育現場の視点から―

一、国際社会における諸問題

治部 縁

―冷戦後の世界情勢―

一、スウェーデンの社会福祉制度について

須野香緒里

一、福祉と住環境の繋がり

瀬戸真理子

―高齢者の快適な住環境とバリアフリーについて―

一、生涯スポーツと健康

豊重 裕基

―卓球を通して―

一、障害者スポーツについて

中村 佳永

一、リハビリテーションについて

西端 剛平

一、認知症にやさしい老人ホーム

服部 有紀

一、コミュニケーション・ワーク

藤井 由貴

―アイスブレーキングとホスピタリティ・トレーニング―

一、スポーツと健康

藤原 武生

一、福祉施設サービスについて

前田 真希

一、リハビリテーションとスポーツ

前田 惟

一、団体スポーツ・個人スポーツ

宮本 僚子

一、母の愛

山内 亜紀

―抱かれる子どもはよい子に育つ―

一、少年院を出た子供たちと現状について

山田 亜季

一、スポーツ選手のリハビリテーション

池田 博

一、生涯スポーツ

上田 妥佳

一、車社会と高齢化

大蔵 未央

一、スポーツと食事

大呂 佳代

一、スポーツと人

奥村 信人

一、スポーツ心理学

北村麻希子

一、ボランティアの存在意義

小崎 梨絵

一、視覚障害者における盲導犬の必要性

小西 麻世

一、スポーツ選手のメンタル強化

三溝明日香

一、高齢者介護について

滝野 元士

一、障害者スポーツについて

中川 智世

―パラリンピックの現状と課題―

一、スポーツ選手における心体機能の発達について

中西 陽

―心と体のバランス―

一、スポーツと健康と福祉

中山賢志朗

一、里親制度の現状と課題

苗村 佳織

一、障害者スポーツについて

西間 綾香

一、笑いの重要性

馬場由香理

一、運動におけるからだと健康のメカニズム

福井 雅弓

一、元気な高齢社会のために

水本 晴歌

―健康を考える―

一、高齢者における健康維持とパワーリハビリについて

村上 裕子

一、様々なコミュニケーション

森本可奈子

―こころとことば―

一、人と病と食

石原真理子

―制限された食生活・これからの happy life のために―

一、スポーツと健康について

井脇 杏美

一、スポーツと健康について

井脇 杏美

一、スポーツと健康について

井脇 杏美

一、スポーツと健康について

井脇 杏美

一、私達の身近に有るペット、動物等の問題 上木戸広秋

―動物に関する問題とそれに関する政策、福祉について―

一、スポーツを通しての教育と人間関係 梅井 泰孝

一、タバコの害と性質・種類 大久保嘉朗

一、建築面から見たバリアフリー 岡田 明奈

一、ウエルチエアーラグビー 岡本 快士

―障害者スポーツ―

一、宗教教育 加来 諭

一、無意識のしぐさから読み取れる心理 北村富実子

一、セラピー・ドッグについて 佐谷 麻衣

―ドッグ・セラピーの歴史・ドッグ・セラピー活動・今後の飛躍―

一、手話 佐藤 真頼

―手話のいろいろ―

一、現代人の足と健康について 菅原 徹

―今、現代人の足が危ない―

一、表情とコミュニケーション 太附 美樹

―言語以外のコミュニケーションの重要性―

一、フリーターとニート 恒川 絵理

―正社員にならない人達―

一、変わり行く現代女性の意識と生活 時政 里香

一、体脂肪燃焼を促進させる成分や方法 沼田 裕宣

一、教育と福祉 藤守 宏樹

一、音楽療法 松本 依子

―音楽がもたらす人間の変化―

一、医療大麻について 村田 浩一

一、障害者スポーツ 山下 真由

一、ストレスとは…… 米田 有希

―ストレスが人に及ぼす影響・その解消法―

一、音楽療法について 秋本 尚希

一、アニマルセラピーについて 一瀬あづさ

―動物たちがもたらす癒し―

一、色彩心理学について 小笠原由佳

―色と心の関係―

一、障害者福祉の諸問題 桑垣 妙佳

一、障害者スポーツとそのエネルギーについて 高階 祐斗

一、美容福祉について 田中 頌子

―美容がもたらす心理的效果―

一、ホスピタリティについて 中谷 奈保

―他者に対する心と行動―

一、社会福祉をとりまく状況 中林 晶子

―特に少子高齢化社会の問題に関して―

一、あなたと握手 中平 知佐

―親子関係におけるコミュニケーションについて―

一、現代の少年・少女の心について 中平 裕子

―多発している少年犯罪について考える―

一、引きこもり突発型犯罪 中山 圭

―犯罪に手を染めるまでの心理状態について―

一、少年犯罪に至るまでの心理 長岡茉莉子

―なぜ犯罪を犯してしまったのか。事件に至る

までの心理―

一、音楽療法について 西田 奈央

一、余暇活動について 東原 真也

―生きがいのある人生を送るために―

一、精神障害者の人権問題 彦坂 幸子

―社会復帰の可能性について―

一、心のオアシス 星野 季子

―現代家族の問題に関連して―

一、痛みと身体の関係について 増田 梓

―「病は氣から」の正当性について―

一、末期医療のケアについて 松陰 涼子

―最後まで人間らしく生きるために―

一、心の病について 松田 裕子

―現代の対人恐怖症について考える―

一、障害者の障害をどう考えるか 松田 由樹

―障害者を取りまく周囲の状況―

一、高齢者にとって生きがいの重要性 森野 裕子

―第二の人生の歩み方―

一、こころの色 若林栄美佳

―色から分かる深層心理―

○専攻科福祉専攻

一、沖縄の芸能が高齢者に与える影響 赤嶺 充

―沖縄の芸能は他府県の高齢者にどのような影

響を与えるのか―

一、障害と個性 井上 禎子

―共に生きる―

一、高齢者・障がい者が過ごしやすい環境につい 宇仁英里子

て

―造る側・求める側の視点の違いについて考える―

一、介護職に求める専門性 江森亜希子

一、特別養護老人ホームでの介護 大崎 和美

―現状と理想―

一、障害をもつ人の性に関する研究 大西 一輝

―性的欲求を充足するための条件について―

一、高齢者の一人住まいが及ぼす影響 釜屋あゆみ

―一人住まいが与える孤独死への恐怖―

一、障害児の放課後保障と学童保育 川渕 絢美

一、高齢者とうつ病 岸本佳津美

一、介護保険が切り開いた新しい時代の介護ビジ

ネスについて 金 志賢

―現在の動向と将来的展望―

一、認知症高齢者の行動心理と介護 草野 愛

一、当事者にとってのセルフヘルプの役割 小南 有加

一、音楽療法の効果について 小嶺 貴史

―音楽が高齢者に与える影響―

一、在宅での終末期ケア 近藤 真弓

一、小規模多機能施設について 才木 雅人

一、障がい者スポーツの効果について 齋藤 尚

- 一、高齢者の死に対するイメージを探る 西馬 杏美
- 一、身体障害者施設における利用者の重度化 佐々木 恵
- 一、認知症高齢者が穏やかに暮らすための環境 八田 典子
- 一、利用者の視点からみたユニットケアを考える 板東 未紗
- 一、閉じこめる介護の問題点 東 知英
- 一、介護職の接し方によって変わる施設利用者の権利 平井 友理

―実習生の視点から―

- 一、施設高齢者が求める介護者像とは 藤岡 麻衣
- 一、施設高齢者が食生活を楽しむための要素 藤田 幸子
- 一、施設利用者の自己主張の方法 古河 智弘

―レクリエーションの視点から―

- 一、色彩のもつ影響は高齢者の生活にどう生かすことができるか 渡邊 有香
- 一、レクリエーションは高齢者の心に何をもたらすか 下川原奈津

―介護実践事例の分析―

- 一、施設における高齢者の自立支援のあり方 杉田 明子
- ―事例や実習体験場面からの考察―
- 一、高齢者虐待について 杉田 仁美
- ―在宅における虐待―

- 一、施設で生活する高齢者に必要な音楽の関わり 杉田 理沙
- ―実習体験事例の分析から―

- 一、音楽療法 谷辺裕美子
- ―精神障害者事例からの分析―

- 一、介護者に必要な医療行為の知識とその介入について 堤 友希

- 一、施設における高齢者の生きがいづくり 鶴田 巴美
- ―介護職員の関わり方と実習場面からの考察―

- 一、介護保険サービスにおける満足度調査分析 西川 尚弘
- ―事例及びサービス利用者へのアンケートから―

- 一、高齢者虐待から考える人間尊重のあり方 農澤 一郎
- ―現場の事例を元に―

二〇〇六年度大学院（文学研究科）

開講科目及び講義題目

○真宗学専攻

- 真宗学特殊研究 「近代真宗学」成立史の研究 M 龍 溪

- 真宗学特殊研究 A・B M (休講)

真宗学特殊研究

- A 宗教と科学―特に西田・田辺・西谷哲学を中心に―

M・D 武田龍

- B 宗教と科学―特に西田・田辺・西谷哲学を中心に―

M・D 武田龍

真宗学特殊研究

- A 往生思想の研究―往生思想の意義― M・D 内 藤

- B 往生思想の研究―親鸞の往生思想― M・D 内 藤

真宗学特殊研究